

コミュニティ・レポート 13

どんど焼き - 子どもたちの手で盛大に開催 -

1月12日(土)～14日(祝)の三連休の間に、若槻地区では各区で恒例のどんど焼きが行われたが、今年
は稲田区からのレポート。

小正月前日の14日、宮北公園と天神木公園で育成会により開催され、大雪の中、朝からしめ縄やダルマを集め、
やぐらを組み立てた。

午前中は地元の小中学生を公園に集めて、どんど焼きにまつわるクイズ大会が行われた。クイズを通して楽
しみながら“どんど焼き”の知識を深めようと、今年は、長野市教育委員会の長野シニアリーダーズクラブの
高校生4名を招き、稲田子どもリーダー会の小学生11名と協力して開催した。準備から実施までリーダー会
の子どもたちが中心に行った。参加した小中学生たちは、リーダーのお姉さん・お兄さんから出されたクイズ
に一生懸命に答え、景品のバルーンアートなどをうれしそうに持ち帰った。小中学生からは、「なぜ、どんど焼
きをするのかよく分かった」「どんど焼きには長い歴史があってびっくりした」「来年も来たい」という声が上がった。

午後1時、いよいよ、どんど焼きの
やぐらに点火だ!! 2箇所の公園でや
ぐらから炎が上がった。朝から雪が降
り続く寒い日。幼児からお年寄りまで
たくさんの地域の人が集まり、ど
んど焼きの炎と煙を見つめ、暖をとっ
たり、持参した「お餅」を焼いて一年
間の無病息災を願った。



大雪の中、いよいよ点火!!

坂上地区にイノシシ出没要注意!



ニホンジカやイノシシなどの生息数の増加や生息区域の拡大などで、各地でこ
れらの出没や被害が話題となっている。これは人ごとではなく上野区にも数回に
渡って現れている。

昨年秋には、塔ノ尾地籍(見晴の湯上、水田耕作地)山千寺地籍(吉)に出没し、
収穫前の稲を数箇所へ渡って荒したため、山側に電気柵(電気ショック)を取り
付けた。

野生鳥獣は自然環境を構成する重要な要素だが、事故が起きる前にお互いに気をつけよう。行政でも野生
鳥獣対策に早急に取り組み、地域ぐるみで安心、安全に暮らせるまちにしたいものだ。(上野 小林)